

ふりがな 氏名	やまもと あつし 山本 忠	職名	准教授
取得学位	教育学修士	学会での受賞歴	
主な担当科目	算数科教育法、算数、専門基礎科目Ⅲ(数学系)、数学の世界、情報処理演習1、理科A		
所属学会	日本数学教育学会、全国数学教育学会、日本数学教育史学会、日本科学史学会		

◆ 教育業績

事項	実施 年月(日)	概要
教科書『教職・保育職シリーズ5教育・保育の新視点』の作成 三恵社 ISBN 987-4-86487-845-6	平成30年 3月	著者:服部幹雄、山本忠、他28名 全310ページ中、第2部 教科及び教科外の指導のうち、「小学校算数科における立体図形の性質の追究学習—ICTを活用した事例として—」(pp.81~90)を執筆
教科書『教員免許状更新講習の理解を深めるための教育・保育の論点ガイド No.3』の作成 三恵社 ISBN978-4-86487-911-8	平成30年 7月	著者:服部幹雄、山本忠、他24名 全202ページ中、第2章「小学校・中学校における教科の指導法」のうち第2節「算数科における作図とその背景となる理論についての考察」、pp.91~100(10頁)を執筆
名古屋土曜学習プログラム講師 名古屋市立二城小学校で土曜授業(算数講座)実施	平成31年 1月	小学生向けプログラム「正ためんたいを作ろう」を実施
名古屋土曜学習プログラム講師 名古屋市立川中小学校で土曜授業(算数講座)実施	平成31年 2月	小学生向けプログラム「正ためんたいを作ろう」を実施
教科書『保育者・教育者をめざす学生のための自習ガイドブック』の作成 三恵社 ISBN978-4-86693-058-9	平成31年 4月	著者:服部幹雄、山本忠、他11名 全215ページ中、第2部・第3章「算数・数学」、第1節「比・割合」、第2節「速さ・時間・距離」、第3節「整数の性質」、第4節「方程式・不等式」、第5節「座標・グラフ・関数」、第6節「数列」、第7節「平面図形(直線図形)」、第8節「平面図形(円、その他)」、第9節「空間図形」、第10節「場合の数と確率」、pp.81~130(50頁)を執筆
教科書『シリーズ教育・保育の論点。教授法と子ども理解』の作成 三恵社 ISBN978-4-86693-101-2	令和元年 7月	著者:服部幹雄、山本忠、他19名 全142ページ中、第3章「コンピュータ教育の歴史からみた現代のプログラミング教育—算数科での留意点」を中心として—、pp.64~71(8頁)を執筆
「算数科教育法」受講学生に新学習指導要領対応のプログラミング教育を指導	令和元年 7月	コンピュータ演習室でプログラミング教育の実践体験を指導(37名と36名)
名古屋土曜学習プログラム講師 名古屋市立堀田小学校で土曜授業(算数講座)実施	令和元年 12月	小学生向けプログラム「正ためんたいを作ろう」を実施
教科書『シリーズ教育・保育の論点・理論と実践』の作成 三恵社 ISBN978-4-86693-281-1	令和2年 8月	著者:服部幹雄、山本忠、他16名 全122ページ中、第2部第3章「数を量の変換とみなす立場についての数学的背景」、pp.59~66(8頁)を執筆
教科書『保育者・教育者をめざす学生のための自習ガイドブック・第2版』の作成 三恵社 ISBN978-4-86693-245-3	令和2年 5月	著者:服部幹雄、山本忠、他11名 全168ページ中、第2部・第3章「算数・数学」、pp.65~100(36頁)を執筆

事 項	実 施 年月(日)	概 要
本学越原記念館企画展『移りゆく学びの景色』の展示 品キャプション執筆協力、展示協力	令和2年 9月	算数・数学の教科書の歴史的変遷における戦後以降に 関するキャプション執筆、算数・数学教科書提供
「算数科教育法」受講学生に越原記念館企画展『移り ゆく学びの景色』の見学引率指導	令和2年10 月	企画展示室の教科書、特に算数・数学関連資料につい て解説と見学指導(40名)
「算数科教育法」受講学生に新学習指導要領対応の プログラミング教育を指導	令和2年11 月	コンピュータ演習室でプログラミング教育の実践体験を 指導(40名)
名古屋土曜学習プログラム「おうちで土曜学習」動画 作成	令和3年 1月	小学生向動画「正 20 めんたいを作ろう」を作成、名古屋 市教育員会動画③の8(5分間)で公開
教科書『シリーズ教育・保育の論点・新時代の学び』の 作成 三恵社 ISBN978-4-86693-490-7	令和3年 7月	著者:服部幹雄、山本忠、他18名 全136ページ中、第2部第3章「初等幾何教育における 小中・中高接続の重要性—相似概念を中心として—」 pp.78~85(8頁)を執筆
「算数科教育法」受講学生に新学習指導要領対応の プログラミング教育を指導	令和3年 6・7月	算数科各社教科書に基づく、プログラミング教育の実践 体験をコンピュータ演習室で指導(29名と30名)
名古屋土曜学習プログラム講師 名古屋市立植田南小学校で土曜授業(算数講座)実 施	令和3年12 月	小学生向けプログラム「正ためんたいを作ろう」を実施
教科書『保育者・教育者をめざす学生のための自習ガ イドブック・第3版』の作成 三恵社 ISBN978-4-86693-627-7	令和4年 4月	著者:服部幹雄、山本忠、他11名 全185ページ中、第2部・第3章「算数・数学」、pp.65~ 100(36頁)、および、第3部第2章のうち pp.177-181(5 頁)の編集・執筆
名古屋土曜学習プログラム講師 名古屋市立大宝小学校で土曜授業(算数講座)実施	令和4年6 月	小学生向けプログラム「正ためんたいを作ろう」を実施
「算数科教育法」受講学生に新学習指導要領対応の プログラミング教育を指導	令和4年 7月(2回)	算数科各社教科書に基づく、プログラミング教育の実践 体験をコンピュータ演習室で指導(32名と35名)
名古屋土曜学習プログラム講師 名古屋市立長須賀小学校で土曜授業(算数講座)実 施	令和4年11 月	小学生向けプログラム「正ためんたいを作ろう」を実施

◆ 研究業績

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年 月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
著 書	『教職・保育職シリーズ 5 教育・保 育の新視点』 〈ISBN 987-4-86487-845-6〉	共	平成30年 3月	三恵社	著者:服部幹雄、 <u>山本忠</u> 、他28 名 全310ページ中、第2部 教科及 び教科外の指導のうち、「小学 校算数科における立体図形の 性質の追究学習—ICT を活用し た事例として—」(pp.81~90)を 執筆

区分	著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称	単・共	発行・発表年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称(会場名)	備考
著書	『教員免許状更新講習の理解を深めるための教育・保育の論点ガイド No.3』 〈ISBN 978-4-86487-911-8〉	共	平成30年 7月	三恵社	著者:服部幹雄、 <u>山本忠</u> 、他 24名 全202ページ中、第2章「小学校・中学校における教科の指導法」のうち第2節「算数科における作図とその背景となる理論についての考察」、pp.91～100(10頁)を執筆
著書	『保育者・教育者を目指す学生のための自習ガイドブック』 三恵社 ISBN978-4-86693-058-9	共	平成31年 4月	三恵社	著者:服部幹雄、 <u>山本忠</u> 、他 11名 全215ページ中、第2部・第3章「算数・数学」、第1節「比・割合」、第2節「速さ・時間・距離」、第3節「整数の性質」、第4節「方程式・不等式」、第5節「座標・グラフ・関数」、第6節「数列」、第7節「平面図形(直線図形)」、第8節「平面図形(円、その他)」、第9節「空間図形」、第10節「場合の数と確率」、pp.81～130(50頁)を執筆
著書	『シリーズ教育・保育の論点。教授法と子ども理解』の作成 三恵社 ISBN978-4-86693-101-2	共	令和元年 7月	三恵社	著者:服部幹雄、 <u>山本忠</u> 、他 19名 全142ページ中、第3章「コンピュータ教育の歴史からみた現代のプログラミング教育—算数科での留意点を中心として—」、pp.64～71(8頁)を執筆
著書	『シリーズ教育・保育の論点・理論と実践』 三恵社 ISBN978-4-86693-281-1	共	令和2年 8月	三恵社	著者:服部幹雄、 <u>山本忠</u> 、他 16名 全122ページ中、第2部第3章「数を量の変換とみなす立場についての数学的背景」、pp.59～66(8頁)を執筆
著書	『保育者・教育者を目指す学生のための自習ガイドブック・第2版』 三恵社 ISBN978-4-86693-245-3	共	令和2年 5月	三恵社	著者:服部幹雄、 <u>山本忠</u> 、他 11名 全168ページ中、第2部・第3章「算数・数学」、pp.65～100(36頁)を執筆
著書	『シリーズ教育・保育の論点・新時代の学び』の作成 三恵社 ISBN978-4-86693-490-7	共	令和3年 7月	三恵社	著者:服部幹雄、 <u>山本忠</u> 、他 18名 全136ページ中、第2部第3章「初等幾何教育における小中・中高接続の重要性—相似概念を中心として—」、pp.78～85(8頁)を執筆

区分	著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称	単・共	発行・発表年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称(会場名)	備考
著書	『保育者・教育者を目指す学生のための自習ガイドブック・第3版』 三恵社 ISBN978-4-86693-627-7	共	令和4年 4月	三恵社	著者:服部幹雄、山本忠、他 11名 全 185 ページ中、第 2 部・第 3 章「算数・数学」、pp.65～100(36 頁)、および、第 3 部第 2 章のうち pp.177-181(5 頁)の編集・執筆
著書	『シリーズ教育・保育の論点・学びの深化』の作成 三恵社 ISBN978-4-86693-664-2	共	令和4年 7月	三恵社	著者:服部幹雄、山本忠、他 14名 全 107 ページ中、第 2 部第 3 章「統計教育における探究的な学びの重要性—統計教材開発の教育的な視点—」、pp.41～48(8 頁)を執筆
論文	「算数における数と量の認識論を支える数学理論の再検討—自然科学における量との関連を含めて—」	単	平成 30 年 2月	名古屋女子大学児童教育学科編『教育・保育モノグラフ No.2・学びの循環』 〈ISSN 2432-8200〉	※算数においては、量からの抽象の結果が数であるのか、同種の 2 量の比が数であるのかという論争について考察し、両方の立場から分数の乗除の意味付けを行った。 pp.91～100
論文	「算数教育現代化期における伊藤武の「発見学習」への再検討」	単	平成 30 年 3月	『名古屋女子大学紀要』 〈ISSN 2185-7962〉 第 64 号、人文・社会編	※現代化期に開発された伊藤武の算数の発見学習の理論は、アクティブ・ラーニングの一つとして、現代の算数の学習に活かせることを示した。 pp.251～260
論文	「情報処理教育における Operating System の基本操作の重要性」	単	平成 30 年 12月	本学児童教育学科編『児童教育論集』 〈ISSN 2433-4863〉 No. 2	※教育・保育現場における情報処理の中で、Operating System の操作の重要性について考察した。pp.80-87. (8 頁)
論文	「理科教育現代化期におけるアメリカの探究学習のわが国への浸透—ESS 理科“Kitchen Physics”の再検討—」	単	令和元年 12月	本学児童教育学科編『児童教育論集』 〈ISSN 2433-4863〉 No. 3	※アメリカの小学生向け現代化理科カリキュラム ESS 理科の教育史的な背景と実験・研究方法重視の授業展開例を分析した。 pp.39-48.(10 頁)
論文	「数学的な考え方」の概念のとらえ方への算数・数学教育現代化思想の影響—片桐重男の研究を基礎とする分析—	単	令和 2 年 3月	『名古屋女子大学紀要』 〈ISSN 2185-7962〉 第 66 号、人文・社会編	※片桐重男の資料を統計的に再分析することにより、現代化期以前から重視され始めた「数学的な考え方」の概念へ現代化思想がどのように影響したのかを示した。pp.239-249.(11 頁).

区分	著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称	単・共	発行・発表年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称(会場名)	備考
論文	「わが国のプログラミング教育の歴史と現状－再帰的アルゴリズムの指導を軸として－」	単	令和2年1月	本学児童教育学科編『児童教育論集』 〈ISSN 2433-4863〉 No. 4	※令和2年度発行の小学校算数教科書におけるプログラミング教育の教材について、過去のアルゴリズム教育の歴史から「メモリ管理表」の導入の必要性を示した。pp.75-84.(10頁)
論文	「数学教育現代化期における『教材としての幾何の公理系』の取り扱い方－教科書と参考書の記述の分析－」	単	令和3年3月	『名古屋女子大学紀要』 〈ISSN 2185-7962〉 第67号、人文・社会編	※昭和45年度告示の高等学校学習指導要領における「平面幾何の公理的構成」に関する教科書と参考書の記述内容を統計的手法で分析した。 pp.133-145.(13頁)
論文	「教育・保育系におけるデータベース教育の重要性－データベース思考」の育成として－」	単	令和3年12月	本学児童教育学科編『児童教育論集』 〈ISSN 2433-4863〉 No.5	※教育・保育を含む多様な実業務でデータベース思考が必要である。目的に応じてデータベースソフトを手動で活用する方法がデータ分析を通じた現状認識につながることを示した。 pp.41-50.(10頁)
論文	「昭和23～35年の生活単元学習期における算数教科書の「生活単元」の設定状況分析」	単	令和4年3月	『名古屋女子大学紀要』 〈ISSN 2185-7962〉 第68号、人文・社会編	※生活単元期の教科書の単元を生活単元と算数単元に分類し、生活単元の設定率と検定年、学年、出版社の3項目との関連を調査した。その結果、検定年が下るに従って生活単元率が下がったことを明らかにした。 pp.139-150.(12頁)
論文	「小・中・高を一貫した体系的なプログラミング教育の教材開発の可能性」	共	令和4年12月	本学児童教育学科編『児童教育論集』 〈ISSN 2433-4863〉 No.6	※プログラミング教育は小・中・高で異なる教科で扱われている現状を、小学校のプログラミング教育の教材を中・高で発展させることにより一貫性を持たせることが実践的に可能であることを具体的に示した。 pp.96-105.(10頁)
論文	「昭和24～32年の生活単元学習期における中学校数学科教科書の「生活単元」から「数学単元」への推移状況－文字式と図形の性質分野に着目して－」	単	令和5年3月	『名古屋女子大学紀要』 〈ISSN 2185-7962〉 第69号、人文・社会編	※当時の教科書51冊について、生活単元の割合を「生活単元率」として算定した。生活単元率を目的変数とする数量化I類の分析を行ったところ、検定年こ

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年 月 (日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
					との経年とともに生活単元率が下がったことがわかった。また、文字式と図形の性質分野が生活単元率を押し下げる要因であったことを明らかにした。 pp.147-159.(13 頁)
口頭発表	「算数・数学教育現代化期における『構造主義教材』の非受容」	単	平成 30 年 11 月	『日本数学教育学会・秋 期研究大会発表集録』 第 51 回(岡山大学)、 日本数学教育学会	※現代化期に導入された構造主義指向の教材について、史料を基に現場での受容困難の実態を示し、概念認知の「視点」の観点から受容困難が生じる理由を提示した。pp.531-534. (4 頁)
口頭発表	「算数・数学教育現代化期における『構造』概念の捉え方」	単	平成 31 年 3 月	「東海地区数学教育学研究会」、第 26 回(岐阜大学)	※現代化期に主張された「構造」の重要性について、各論者の意味内容を再検討した。
教科教育 雑誌 記事執筆	「座右の書・数学教師人生を変えたこの一冊・『新しい数学』(矢野健太郎)」	単	令和 2 年 10 月	『教育科学・数学教育』、 No.756、明治図書、 ISSN2188-4277	pp.104-105. (2 頁)